

熊本からの第一報です。

昨日午前9時半過ぎ熊本着。熊本中央 YMCA に直行、神保**本部事務局長**にあいさつし、応援に駆けつけてきていた名古屋 YMCA の方の運転で益城総合体育館へ。大久保所長にあいさつ、概要を聞き、体育館内外見学。いくつかのアドバイスをさせていただく。

1. 町管理者との連携が大事。ここを密に、うまく。熊本 YMCA が指定管理者になっていて運営のすべてをしていた。
2. 避難者のプライバシーがない。もう少し工夫を。
3. 人と物は十分すぎるぐらいあるように見える。いかにマネージするか。
4. 対応する YMCA の人が燃え尽きないように。休みを取る。人に任せる。組織、役割をはっきりさせ、その人たちにできるだけ任せる。所長にすべての問題が来ないように。それぞれの部署は、2人、3人と複数で、ボランティアも入ってもらう。
5. 総合案内を入りに大きく出し、そこで大体の対応をする。
6. 館内見取り図、案内をもう少し丁寧に出す。
7. プレス対策を。時間を区切って会うように。

医療面の応援も、日赤、国立病院、民医連、他県からの応援に来ている保健師など十分足りているように見受けられた。

その後、ルーテル健軍教会、ルーテル神水教会訪問、JCMS がベースキャンプを検討した時、教会を貸していただけるか打診。可能性あり、最終判断は後日。

熊本中央 YMCA に戻り、神保**本部事務局長**に報告、その後中央 YMCA 内を見せていただく。夕方、阿蘇から戻られた日本 YMCA 同盟島田総主事から阿蘇の状況を伺い、益城を見てきた、私の感想をお話する。

今日の感想。

1. 被害地域が限定されている。余震も少し落ち着いてきた。支援者、支援物質もかなり潤沢。今現在 JCMS が全国に声をかけ、熊本にベースキャンプを築き、応援する必要性は今日見てきた範囲ではない。
2. 今後、現地から、具体的な人、物の要請があれば、それにこたえる形で出来るだけの応援をする。PTSD の問題、仮設の見回りの問題、等々。
3. もし、熊本に来て、どこかをベースにとるのであれば、私の印象ではルーテル健軍協会、被災地の中心、益城、阿蘇にも近い、交通の便が良い。建物しっかりしている。他に、中央 YMCA の近く、カトリックが運営している幼稚園の2階もどうぞの申し出を昨日受ける、ここも候補地。

24日以降、JCMS 熊本会員にも連絡をし、できるだけ尋ねる予定。

Windows 10 版のメールから送信